

# 雨戸付柵防犯部品箱 取付説明書

マニュアル番号 MN-1362 表

このたびは「雨戸付柵防犯部品セット」をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。  
この説明書をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。

## 販売店様・加工店様へのごお願い

- 1 取り付けは説明書に従い正しく取り付けて下さい。
- 2 雨戸付柵防犯部品セットの中身を確認の上、部品は全てご使用下さい。

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なっていただく事」を示しています。

**お願い** 必ず雨戸柵を組み立てる前に部品を取り付けて下さい。

## 梱包内容の確認

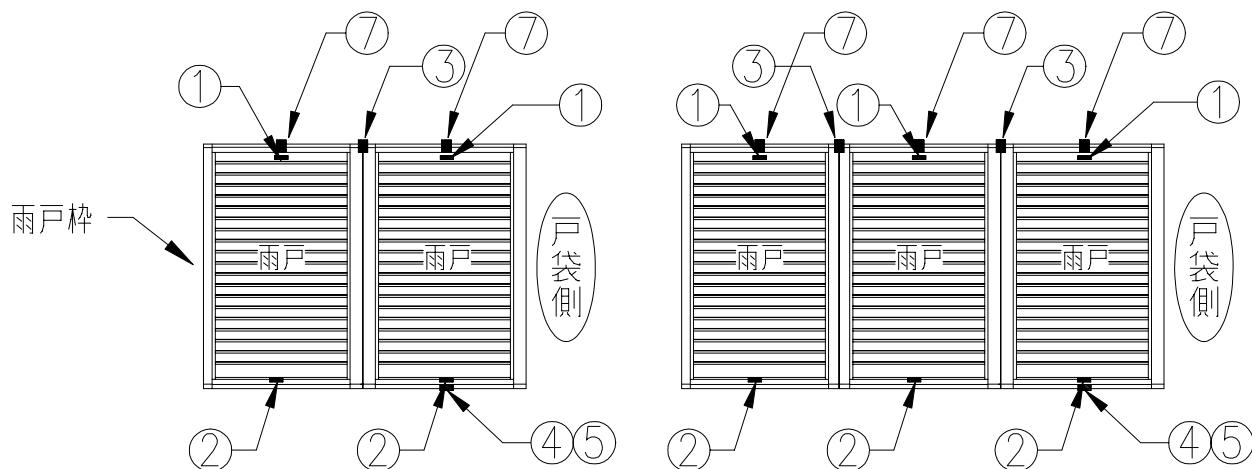
	①	②	③	④	⑤	⑥
部品名称	雨戸錠(上用) (BKEY24)	雨戸錠(下用) (BKEY23)	雨戸外れ止め (雨戸突合わせ用)	雨戸錠受け	雨戸錠受付けビス (4x6 トラス)	取付説明書
姿図			 <small>上記はテクト・フルプ用です テクトB×用は形が異なります</small>			
雨戸2枚 セット	2	2	1	1	2	1
雨戸3枚 セット	3	3	2	1	2	1
名部品箱 補助 セット	2	2	2			

⑦	 <small>上記はテクト・フルプ用です テクトB×用は形が異なります</small>	雨戸外れ止め (上用雨戸錠受け)	雨戸外れ止め(上用雨戸錠受け)は上柵に雨戸枚数分取り付けられています。 防犯部品箱には入っていません。 ご注意下さい。
---	---	---------------------	---

## 取付け位置の確認

例：雨戸2枚のとき

例：雨戸3枚のとき



図A 各番号は上記の梱包内容表中の番号に対応しています。

**お願い** 雨戸4枚以上に取付時も同様に①②の雨戸錠を雨戸1枚毎に、  
③の雨戸外れ止めを突合わせ部毎に取り付けて下さい。

# 雨戸付枠防犯部品箱 取付説明書

マニュアル番号 MN-1362 裏

## ■ 取付手順

下記取り付け手順図はテクト半外付枠を使用しております。  
外付枠、アルプラ枠、テクトB×枠に取付時も下記手順と同様に取付を行って下さい。

### 1. 雨戸錠の取付

**お願い** 必ず、雨戸1枚ごとに①雨戸錠（上用）、②雨戸錠（下用）を取り付けて下さい。  
取付方法は雨戸錠袋に記載されておりますのでご参照下さい。

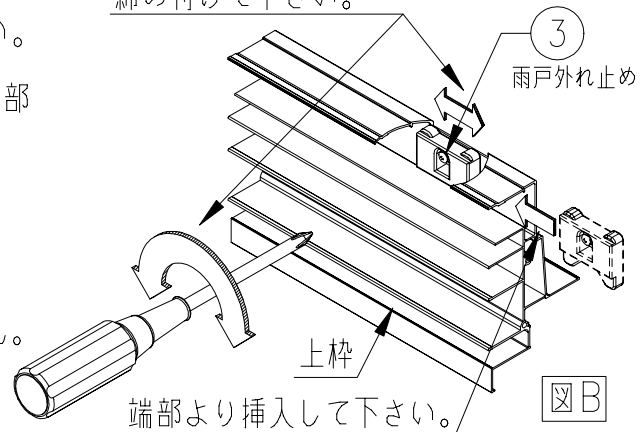
### 2. 雨戸外れ止めの取付

**お願い** 必ず枠を組み立てる前に行ってください。

図Bの様に上枠を組み立てる前に雨戸レール端部より③雨戸外れ止めを挿入して下さい。  
枠を組み立て、雨戸を建て込んだ後に図Aの取付位置を参考に③、⑦の雨戸外れ止めをずらしてビスを締め、固定して下さい。

注・③、⑦の雨戸外れ止めは同じ部品ですので位置が入れ替わっても機能上支障は有りません。  
上枠にあらかじめ取り付けている  
⑦雨戸外れ止め（上用雨戸錠受け）はビスを緩めると動かせるようになります。

位置決めを行いビスを締め付けて下さい。

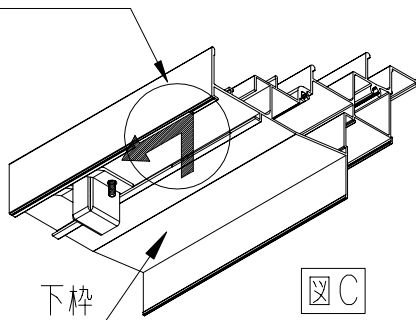


### 3. 雨戸錠受けの取付

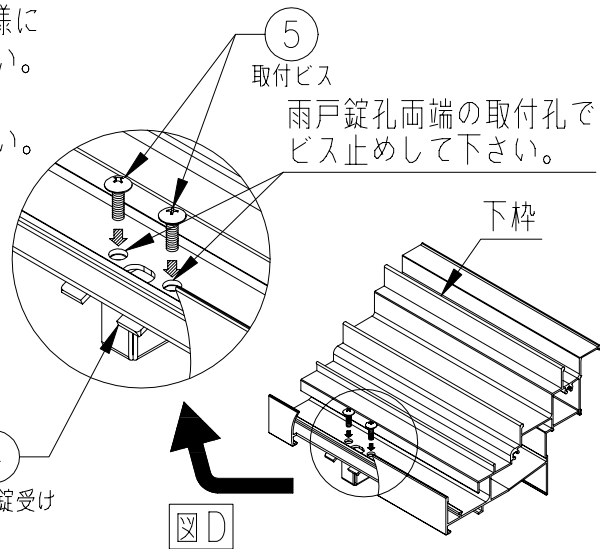
図Cの様に雨戸レール下の切欠き部より挿入して下さい。  
挿入後戸袋側の雨戸錠下に移動させ図Dの様に取付穴に合せビス止めして取り付けて下さい。

注・特寸時にはこの加工位置を使用できない為戸袋側の雨戸錠位置に合せ加工をして下さい。

切欠き部から挿入して下さい。



④ 雨戸錠受け



注・④雨戸錠受けはテクト・アルプラに取り付ける場合は右図の様に雨戸レール下の両側の溝に部品がしっかりと入るように取り付けて下さい。  
テクトB×に取り付ける場合は雨戸レール下の片側の溝に部品がしっかりと入るように取り付けて下さい。

